



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第47巻第
3号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第47巻第3号). 泌尿器科紀要 2001, 47(3): 228-228

ISSUE DATE:

2001-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114471>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1頁につき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編 集 後 記

先般われわれの医療センターでは病院の近くに、臨床研修医のための4階建25部屋のレジデントハウスを竣工した。命名を依頼されたので、レジデントハウス『シャローム』(Resident House SHALOM)とした。

「シャローム」は平和・平安・幸福を意味するヘブライ語である。

聖書(マタイによる福音書 10-12)に「その家に入ったら、『平和がありますように』と挨拶しなさい」という言葉があり、これは英語では Peace be with you. であるが、ヘブライ語では Shalom である。現在でもユダヤの人々は、「こんにちは」、「さようなら」、「ありがとう」という感じで、シャロームと挨拶している。

そもその意味は、「何ものも欠如していない状態」、「完全に満ち足りた状態」だそうである。そのほか、無事、健康、安心、繁栄などを意味するが、健康は病気のもつ欠如したものを充たすものだから、シャロームに健康の意味もあることは容易に理解できる。

これからのヘルスケアを担う若い人々に、平安、幸福がもたらされるようにとの祈りと、病める人々にシャロームをもたらし立派な医療人になって欲しいとの願いを込めての命名である。

平成16年から臨床研修は必修となる。厚生省や文部省、大学や研修指定病院はそれぞれのエゴを捨てて、日本の臨床レベルを上げるために今回の改正を生かすことが出来るよう、最善の努力を重ねねばならない。

(吉田 修)